

就労支援ネットワークセミナー

「障がい者就労支援ネットワークセミナー」は、平成19年に当センターが開設して以来、可能な限り住み慣れた地域で「就労に関する相談」、「情報交流」、「必要な学びの場の提供」を趣旨として、暮らしやすい地域作りを目標に回を重ねてきました。ここ3年間はコロナ禍への対応もあり、行政福祉担当者に特化して、改めて地域課題の把握と今ある資源を活用した新しい仕組みを考えるための会を行ってきました。今年度はより地域に根ざした活動を現場で共有出来る機会とするため、セミナーを企画しました。

テーマ：住民のニーズと地域資源の活用の仕方

ごちゃまぜ交流の場
「カフェゆーゆ」の見学



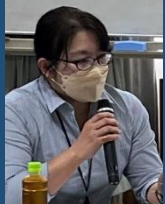
お昼時はランチを食べるお年寄りが大勢
午後からはお風呂タイム



コミュニティーナースが滞在し、
皆さんのお困りごとに対応します



後半は、更別村で働き生活をしている方よりお話を伺いました。サービスを使っていない・制度上の支援を受けていない方が感じている困り事から、村にある資源と仕組みを有効活用するための話し合いを行いました。



役場福祉課
鏡水さん



クローバーモア
金曾さん

希望していること
人とのつながり
訪問してくれる人

仕事だけの生活になりがちで、余暇を楽しむ余裕が無い金曾さん。以前受けていた社協の金銭管理のサービスは、話ができる相手がいる心のよりどころになっていたそうです



コミュニティーナース
稲本さん

ごちゃまぜ交流の場
「カフェゆーゆ」

カフェゆーゆでは、左記内容を目的に、ランチの提供・就労支援の実施・職業体験の受け入れなど、世代間交流・高齢者と障がい者への支援活動を行っています

コミュニティカフェ【カフェゆーゆ】の目的

地域の居場所、つながりを広げる場として、食事や飲み物を提供しながら、時にはイベントを開催するなどして地域住民等の参画により運営していくもの

①ごちゃまぜ交流

高齢者から子どもまで、障がいの有無や男女を問わず、多様な世代・多様な方々が集い、交流を育む場となること

②自己実現の場

各人の特技等の披露や趣味の共有を図り、カフェ参加者との一体感を構築するような自己実現の場となること

③雇用の創設

障がい者等にとって閉鎖的ではなく、村民と交流を持ち、お互いに顔の見える形での活躍の場となること

コミュニティーナースとは

人は社会とのつながりがあってこそ、本当に健康だと言えます。そのつながりを作るおせっかい人

(当日資料から抜粋)



今回のセミナーでは、「コミュニティカフェ」の運営を考えている町村からの参加もあり、取り組みへの注目が高いと感じました。今年度は十勝管内などの地域のセミナーにも参加出来る形式を取っているため、話題に対し関心を向ける町村の状況が見える結果となりました。限りある資源の有効活用、拾ったニーズの受け皿・柔軟な発想と横の連携がキーワードのセミナーでした。当事者の方の意見を聞くと、改めて事業の意味合いを見直す機会にもなりました。「金銭管理の事業はお金の管理をするだけではない、人とのつながりや生活へのハリにつながっていた」という言葉に、支援側の我々が気づかされること、役割だけではない、その方自身を尊重する大切な考えを再確認する会になりました。

4回目のネットワークセミナーは11月7日本別町で行います。町内の就労支援の在り方を考える内容です。ご期待ください。